



医療法人北海道家庭医療学センター

栄町ファミリークリニック



病院データ

住所	〒007-0841 札幌市東区北41条東15丁目 1-18
URL	https://www.hcfm.jp/
連絡先(窓口)	事務局 011-374-1780 (直通) info@hcfm.jp
病床数	-床
専門研修指導医数	25人
臨床研修指導医数	25人
外来患者数	70人/日※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	-人/日
給与(月額)	53万円



専門研修プログラム

総合診療科

北海道家庭医療学センター総合診療専門医コース

2年間の病棟研修+2年間の都市部・郡部診療所(各12か月)勤務で「家庭医として生きること」を実践から学びます。そこでは都市部-郡部、民営-公営と様々なセッティングで展開される家庭医療を、また、多くの指導医の下で家庭医療の重要な価値観を学ぶことができます。

(連携施設)

【病院】江別市立病院/勤医協中央病院/札幌徳洲会病院/砂川市立病院/帯広協会病院/利尻島国保中央病院/北海道立羽幌病院/市立旭川病院/獨協医科大学病院/倶知安厚生病院/市立稚内病院/名寄市立病院

【診療所】更別村国民健康保険診療所/寿都町立寿都診療所/国民健康保険上川医療センター/本輪西ファミリークリニック/若草ファミリークリニック/北星ファミリークリニック/向陽台ファミリークリニック

理事長から

1996年の開設以降、日本の医療の中で家庭医が重要な役割を担うであろうと考え、良質な家庭医・総合診療医の育成を行っています。系統だったシステムを重視し道内の多くの研修サイトをローテートしながら、複数の総合診療のロールモデルと出会い研修を積むことができる体制を整備しています。診療所での研修も長く、都市部と郡部の個性豊かな診療所で家庭医療専門医の資格を持つ指導医から指導を受けることが可能です。



理事長 草場 鉄周

指導医から

後期研修の到達目標の一つとして「家庭医として自立して実践できるかどうか」を掲げています。

家庭医の領域は体全体を扱うので経験のない症例に遭遇するケースも少なくないため、後期研修修了後も一人で考えて対処

し、自らステップアップできる医師を輩出できるよう、指導医は専攻医一人ひとりの到達度や個性に応じて働きかけを行っています。



指導医 中川 貴史

専攻医から

HCFMではさまざまな診療のセッティングを、段階を踏みながら経験できます。病院、郡部の診療所、そして都市部の診療所。働くセッティングが変われば求められる家庭医像も変わります。日々それを追い求めるうちに気がつけば家庭医としての進歩・成長に繋がっている。それはシステム化されたプログラムのおかげかもしれません。指導医は、HCFMで体系的に学んだ方ばかりなので、どの指導医からも一貫した指導が受けられます。



専攻医 梅津 貴之